
市民会議での討議の進め方

2007年2月10日

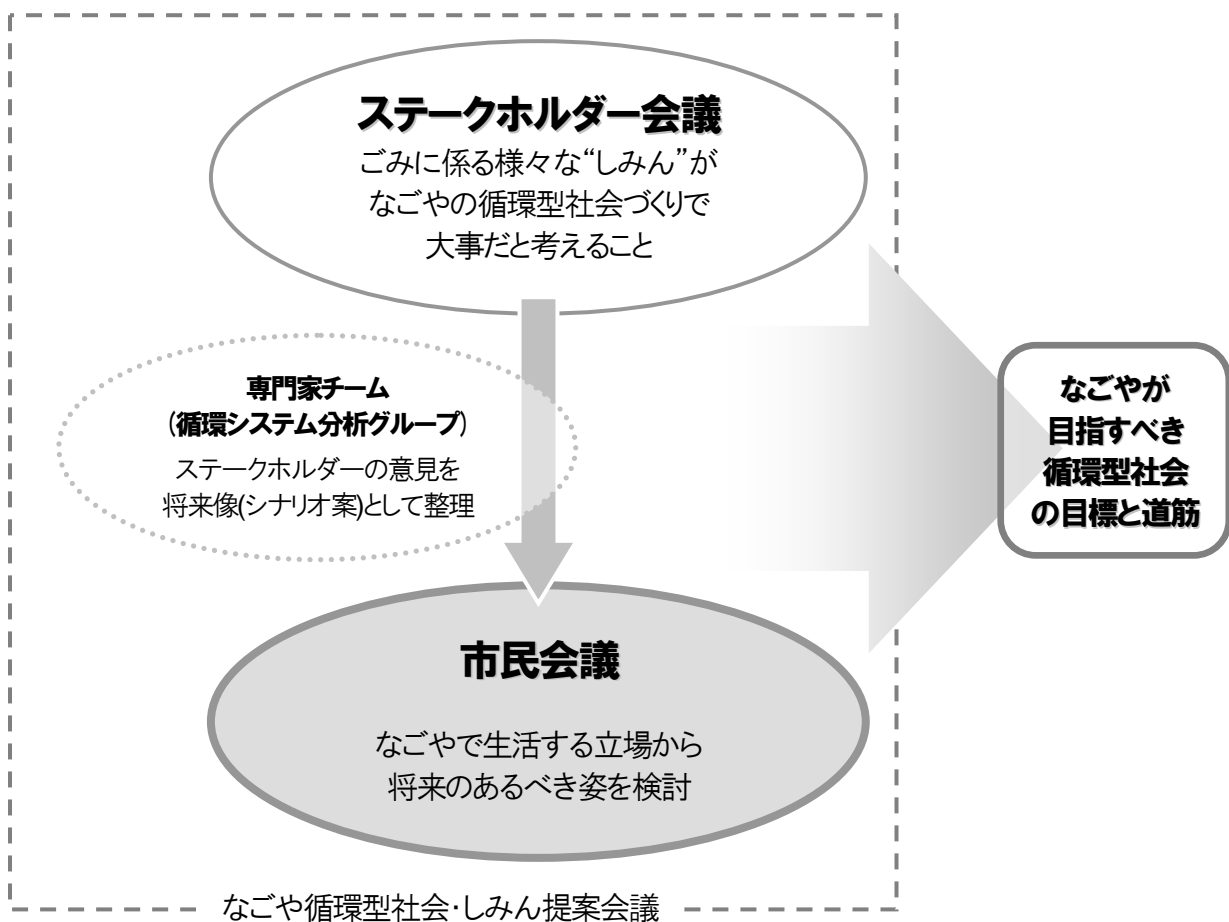
なごや循環型社会・しみん提案会議 実行委員会

1. 市民会議とは...

なごや循環型社会・しみん提案会議は、**今後、なごやが目指すべき循環型社会の目標と道筋を検討**しています。この会議は、ステークホルダーと市民会議が両翼を担っています。

ごみ係る様々な“しみん（市民、地域団体、NPO、販売店、メーカー、ごみ処理業者、行政など）”で構成するステークホルダー会議では、それぞれの立場から、なごやの循環型社会づくりを進めるうえで重要と考えることについて意見を出し合いました。

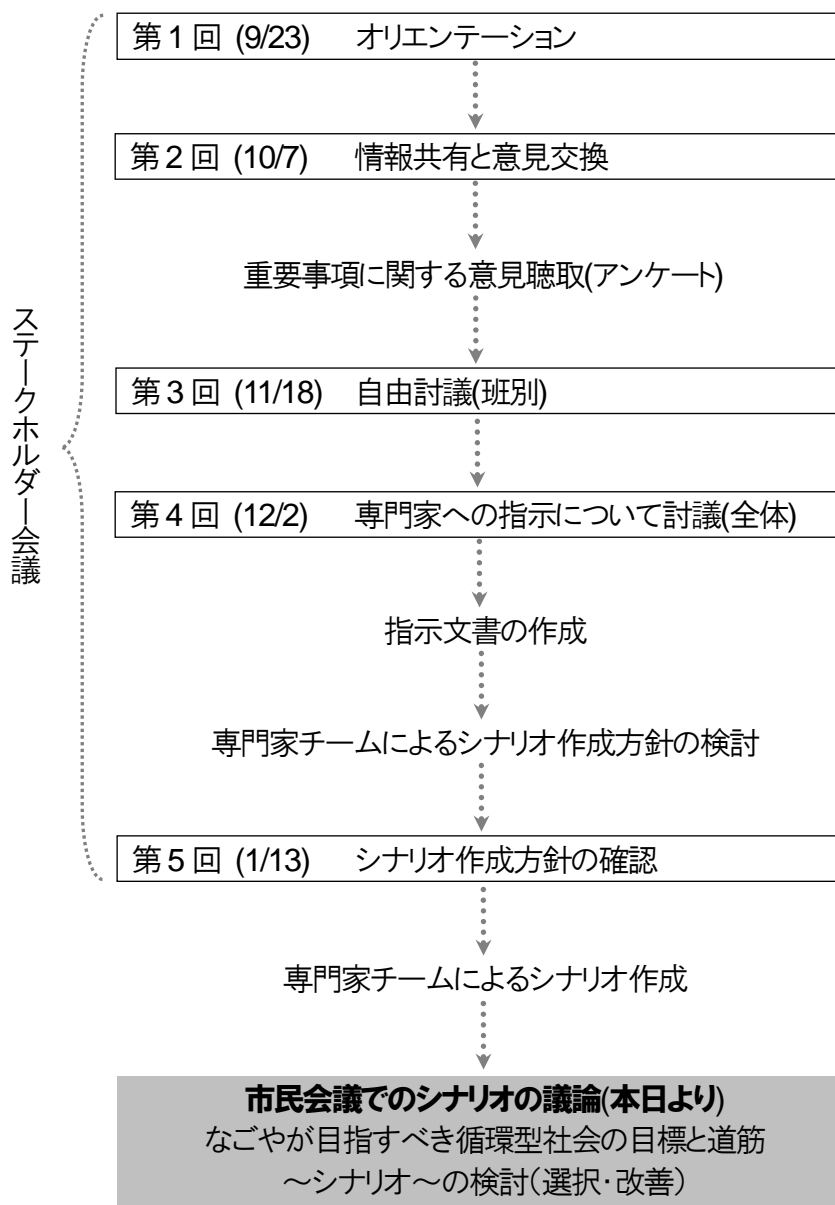
そして、**実際になごやで生活する皆さんで構成する市民会議では、ステークホルダー会議の意見を基に、将来のあるべき姿を検討**します。



2. ステークホルダー会議から市民会議へバトンタッチ

ステークホルダー会議では、なごやの循環型社会づくりに関して、これまで5回話し合ってきました。その際、大事な点を挙げて賛成反対の意見を交わしたり、思いつくことを自由に話し合ってきました。

話し合いの結果は、専門家が市民会議のメンバーに示すシナリオを作成するための指示文書の形で取りまとめました。



本日より、ステークホルダー会議から市民会議へバトンタッチとなります。

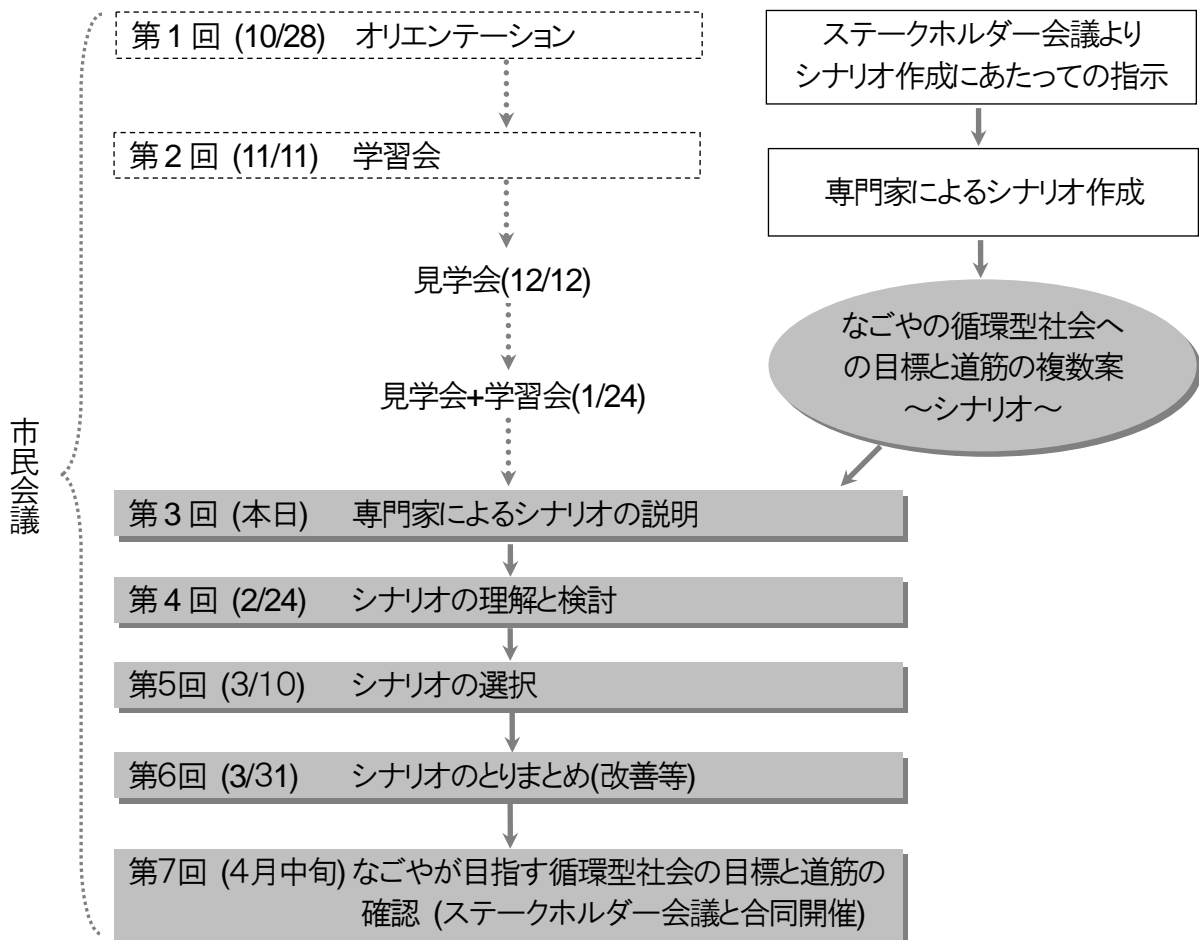
市民会議では、指示文書を基に専門家が作成した『**なごやでの循環型社会づくりにむけた目標と道筋～シナリオ～**』の**選択・改善**を行います。

3. 市民会議における討議の流れ

ステークホルダー会議では、生ごみやプラスチック類など個別の品目のリサイクルや、焼却の是非、費用負担のあり方など、ごみに関する種々の側面や課題を取り上げてきました。

一方、**市民会議では、これらの一つ一つの課題を個別に検討するのではなく、「目指すべき社会像」として、社会のあり方全体を考えていきます。**ここでは「なごやが目指すべき循環型社会の目標と道筋」を、シナリオと呼んでいます。

このシナリオは、専門家チームがステークホルダー会議の指示に基づき作成しました。



本日の第3回会議では、案として4つ用意しましたシナリオについて理解します。

そして、**次回の第4回会議において、4つのシナリオについて理解・検討を行います。第5回会議では適切だと思われるシナリオに対する皆さんの投票に基づいて1つを選択**します。

さらに、**第6回会議では、そのシナリオに対する改善点の検討などを行い、「なごやが目指すべき循環型社会の目標と道筋」としてのとりまとめ**を行います。

第7回会議では、ステークホルダー会議の参加者と共に、「なごやが目指すべき循環型社会の目標と道筋」の確認を行い、併せて5月以降引き続き検討を深めていくべき課題等についての意見交換も行います。

4. 包括的な検討としての“シナリオ選択”について【補足説明】

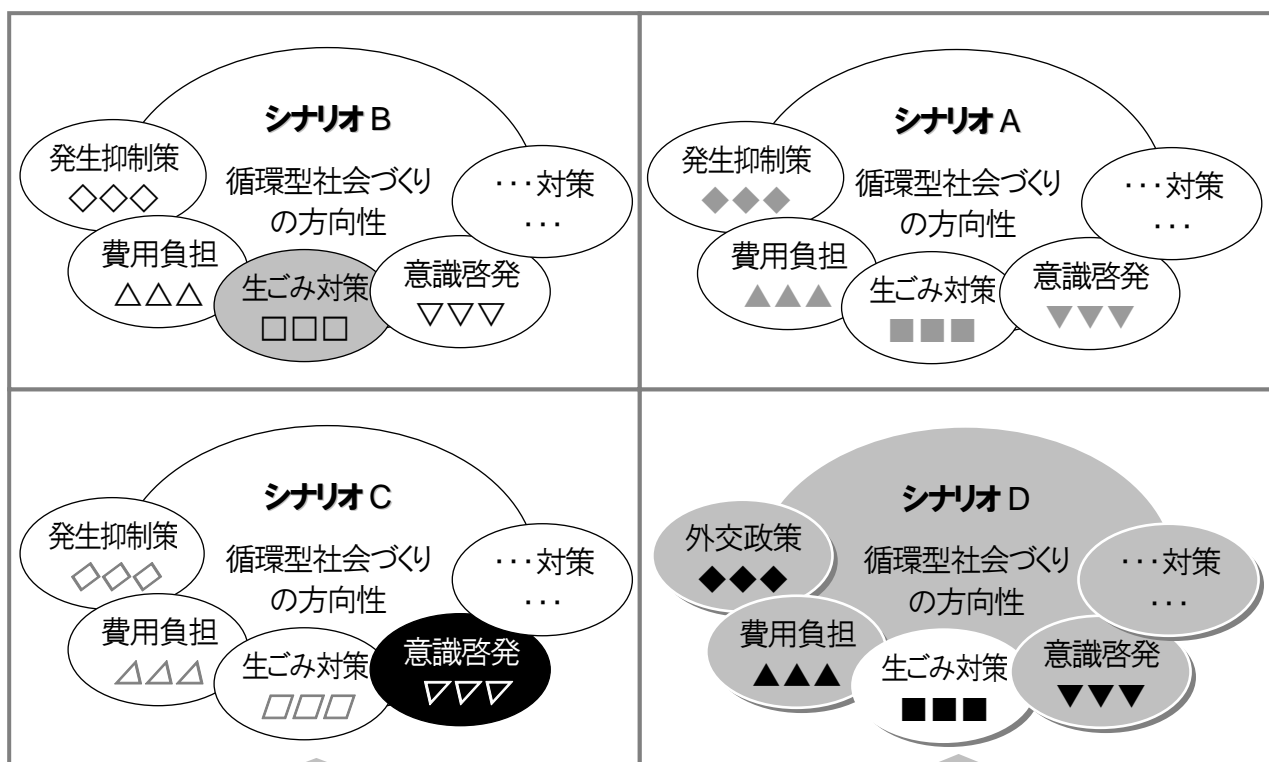
前頁では、『市民会議では、これらの側面や課題を個別・断片的に検討するのではなく、「めざすべき社会像」として、包括的に扱います。』と述べました。以下では、この「包括的な検討」について補足します。

シナリオは、基本となる方向性、発生抑制策・費用負担のあり方・生ごみ対策・意識啓発の方法などの種々の取組みの組合せで構成されています。そして、シナリオは無数に用意されているのではなく4つに厳選していますので、**全て自分の考えに合致しているシナリオがあるとは限りません。**

そこで、シナリオの選択にあたっては、次のような視点を持って頂きたいと思います。

- ・自分が好ましいと思う取組みを多く掲げているのはどのシナリオか？
- ・自分が最も重視する取組みを掲げているシナリオはどれか？

さらに、シナリオ選択の後には、個別の取組みについての改善を討議する時間を予定しています。



市民aさん

最も重要視するのは意識啓発。
自分が理想と考える方法が、
シナリオ C に近かった！

市民bさん

生ごみ対策は
シナリオ B の□□□
の考えに近いけど、
他の部分や、全体の方向性は
シナリオ D の考えに近い！